

【教育コンピュータ活用事業(小学校・中学校)】

○評価結果

事業の現状・課題	<p>◇教員のICT活用力が、小学校では5項目の全てにおいて全国平均を著しく下回っている(別冊20ページの資料参照)。また、中学校でも平均値を上回ってはいるが、十分とは言えない。教員のICT活用力不足は、分かりやすい・興味深い授業展開のためにPCが有効活用されていないことにつながり、児童生徒の学習意欲や学力向上の面からも問題である。</p> <p>◇児童生徒用のPC等機器の整備状況については近隣自治体よりも進んでいるが、コンピュータ教室の稼働率が著しく低く、有効活用が図られていないと言える。また、目標としてPC等の機器整備に係るハード面が設定されているが、機器整備は手段に過ぎない。教員の教育活動におけるPC及びコンピュータ教室の利用などのソフト面について、教育委員会の関与が希薄であることは問題である。</p>	
	事業の方向性	抜本の見直し
評価結果	<p>◇情報化に対応した教育の充実には、教員のICT活用力の向上が必要不可欠である。教員の個々の能力を上げるため、教育委員会が積極的に関与し、次のような事業展開を検討されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 教職員に、1人1台のPCを整備。 * PCを有効活用した教材の作成に関する指示・指導及びその共有化に係る整備。 * PC利用(教材作成や授業への利用等)に係る研修の実施。 <p>◇本事業の目標については、教育委員会として、教員のICT活用力向上のための教育・研修の実施や魅力的な授業展開・教材開発など、教育の中身の充実に繋がるような方策を掲げるべき。</p>	
	予 算 額	現行
<p>◇教職員用PCの増設が必要であるが、現在リース契約により調達している児童生徒用PC等の機器をも含めて、リースと購入との比較検討を行い、最も安価な方法を採用することにより、予算の増額を抑えられたい。</p>		

概要説明書

事務事業名	教育コンピュータ活用事業(小学校)	体系コード	42122-03
主管課	学校教育課指導担当		

(単位:千円)

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託業務 (委託先: 富士通リース株式会社、東芝情報機器株式会社)				
	<input type="checkbox"/> 補助金 【 <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 】 (補助先 実施主体:)				
	<input type="checkbox"/> その他 ()				
主な事業の内容と事業費	事業		詳細内容	平成23年度 決算見込額	平成24年度 予算額
	消耗品	コンピュータ用消耗品の購入に関する事		264	500
		消耗品の購入に係る事務 インク・トナー等		264 (需用費)	500 (需用費)
	インターネット	インターネットの利用に必要な手続きに関する事		679	429
		インターネット回線使用料の支出事務 (Bフレッツ)		416 (通信運搬費)	227 (通信運搬費)
		プロバイダ契約及び接続利用料の支出 に係る事務(ぷらら)		239 (使用料)	202 (使用料)
		ルータ設定変更事務		23 (手数料)	0 (手数料)
	コンピュータ維持管理	コンピュータの不具合への対応等、コンピュータの維持管理に関する事		42	27
		コンピュータの保守に関し、専門業者への委託に係る契約及び支出事務		42 (委託料)	27 (委託料)
	コンピュータ及び周辺機器の借上げ	教師用、PC教室用、特学用、ことばの教室用コンピュータの借上げに関する事		9,806	9,131
		機種を選定に係る事務 ・学校におけるPC教育のニーズを取り入れながら、より適切な機種、機材、学習ソフトの導入を図る。		—	—
		リース契約及び支出事務		9,806 (借上料)	9,131 (借上料)
その他	コンピュータ研修会 ・パイパーキューブキッズを活用した授業展開の方法や情報モラルの指導についての講習		—	—	
事業費計			(a) 10,791	10,087	
平成23年度人件費相当額 (算出根拠については、事務事業評価シートを参照)			(b) 1,271	/	
本事業に係る費用の計			(a)+(b) 12,062	/	

概要説明書

事業の必要性 (事業規模の縮小や休廃止した際の影響等)	情報化に対応した教育環境を整備し、コンピュータ教室をはじめとする情報機器の整備・充実を図ることは、児童の学力向上を目指す上で、極めて重要であると考えられる。 ICTの活用する能力は、知識基盤社会を生きる子どもたちにとって、必須な技能であると考えられる。 また、ICT機器を用いた業務の効率化をはかることにより、業務を軽減し、教員が教育活動に携わる時間を確保することができる。
--------------------------------	---

町における類似事業	教育コンピュータ活用事業(中学校)
-----------	-------------------

比較参考値 (他自治体の状況・ベンチマーク等)	近隣自治体の教育用コンピュータに関わる費用(一校あたり) 単位 千円										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="width: 20%;">A市</td><td style="text-align: center;">6,590</td></tr> <tr><td>B市</td><td style="text-align: center;">5,320</td></tr> <tr><td>C市</td><td style="text-align: center;">4,378</td></tr> <tr><td>D市</td><td style="text-align: center;">6,481</td></tr> </table>	A市	6,590	B市	5,320	C市	4,378	D市	6,481	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">寒川町(小学校)</td> <td style="text-align: center;">2,158</td> </tr> </table>	寒川町(小学校)
A市	6,590										
B市	5,320										
C市	4,378										
D市	6,481										
寒川町(小学校)	2,158										
IT新改革戦略(平成18年1月) ・普通教室において、プロジェクタ、PC、無線LANの整備 ・児童3.6人に対して1台のPCの整備 ・教員一人に1台のPCの整備											

24年度の状況と今後の方針	平成24年度までの状況												
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="width: 30%;">PC教室</td><td>教師用PC2台 児童用PC42台</td></tr> <tr><td>職員室</td><td>教師用PC5台(内2台は無線LAN対応)</td></tr> <tr><td>特別支援教室</td><td>一校あたり1台</td></tr> <tr><td>普通教室</td><td>PCなし LANなし</td></tr> <tr><td>事務室</td><td>一校あたり1台</td></tr> <tr><td>校内LAN</td><td>職員室からPC教室までのLAN配線</td></tr> </table>	PC教室	教師用PC2台 児童用PC42台	職員室	教師用PC5台(内2台は無線LAN対応)	特別支援教室	一校あたり1台	普通教室	PCなし LANなし	事務室	一校あたり1台	校内LAN	職員室からPC教室までのLAN配線
PC教室	教師用PC2台 児童用PC42台												
職員室	教師用PC5台(内2台は無線LAN対応)												
特別支援教室	一校あたり1台												
普通教室	PCなし LANなし												
事務室	一校あたり1台												
校内LAN	職員室からPC教室までのLAN配線												
今後の方針 ・普通教室に教師用のPCを配備 ・普通教室用の児童用のPCを40台(ノート型またはタブレット型) ・普通教室に校内LANを整備 ・電子黒板などの機器の充実													

特記事項 (事業の沿革等)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成14年度 職員室に教師用PCを各校2台整備 ・平成14年度 事務室にPCを各校1台整備 ・平成14年～15年度 PC教室に教師用PC1台、児童用PC22台を整備 ・平成18年度 職員室にインターネット用PCを各校2台整備 ・平成18年度より 特別支援教室にPCを整備開始 ・平成18年度 職員室～PC教室まで、校内LAN整備 ・平成19年度 職員室に新教師用PCを各校2台整備 ・平成22年度 PC教室に新教師用PC1台、新児童用PC40台を整備 ・平成24年度 旭小学校特別支援教室にPC1台整備
------------------	--

概要説明書

事務事業名	教育コンピュータ活用事業(中学校)	体系コード	42122-04
主管課	学校教育課指導担当		

(単位:千円)

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託業務 (委託先: 東芝情報機器株式会社)		
	<input type="checkbox"/> 補助金 【 <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 】 (補助先 実施主体:)		
	<input type="checkbox"/> その他 ()		

事業		詳細内容	平成23年度 決算見込額	平成24年度 予算額
主な事業の 内容と事業費	消耗品	コンピュータ用消耗品の購入に関する事	1,370	440
		消耗品の購入に係る事務 インク・トナー等	1,370 (需用費)	440 (需用費)
	インターネット	インターネットの利用に必要な手続きに関する事	394	258
		インターネット回線使用料の支出事務 (Bフレッツ)	250 (通信運搬費)	136 (通信運搬費)
		プロバイダ契約及び接続利用料の支出 に係る事務(ぷらら)	144 (使用料)	121 (使用料)
	コンピュータ維持管理	コンピュータの不具合への対応等、コンピュータの維持管理に関する事	739	370
		コンピュータの保守に関し、専門業者への委託に係る契約及び支出事務	739 (委託料)	370 (委託料)
	コンピュータ及び周辺機器の借上げ	教師用、PC教室用、特学用、ことばの教室用コンピュータの借上げに関する事	5,095	8,306
		機種を選定に係る事務 ・学校におけるPC教育のニーズを取り入れながら、より適切な機種、機材、学習ソフトの導入を図る。	—	—
		リース契約及び支出事務	5,095 (借上料)	8,306 (借上料)
事業費計			(a) 7,598	9,374

平成23年度人件費相当額 (算出根拠については、事務事業評価シートを参照)	(b) 1,271	
---------------------------------------	-----------	--

本事業に係る費用の計	(a)+(b) 8,869	
------------	---------------	--

事業の必要性 (事業規模の縮小や休廃止した際の影響等)	<p>情報化に対応した教育環境を整備し、コンピュータ教室をはじめとする情報機器の整備・充実を図ることは、生徒の学力向上を目指す上で、極めて重要であると考えられる。</p> <p>ICTの活用する能力は、知識基盤社会を生きる子どもたちにとって、必須な技能であると考えられる。</p> <p>また、ICT機器を用いた業務の効率化をはかることにより、業務を軽減し、教員が教育活動に携わる時間を確保することができる。</p>
--------------------------------	--

概要説明書

町における類似事業	教育コンピュータ活用事業(小学校)												
比較参考値 (他自治体の状況・ベンチマーク等)	<p style="text-align: center;">近隣自治体の教育用コンピュータに関わる費用(一校あたり) 単位 千円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">A市</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">6,590</td> <td rowspan="4" style="padding: 10px; vertical-align: middle;"> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">寒川町(中学校)</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">2,532</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">B市</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">5,320</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">C市</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">4,378</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">D市</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">6,481</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">IT新改革戦略(平成18年1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通教室において、プロジェクタ、PC、無線LANの整備 ・生徒3.6人に対して1台のPCの整備 ・教員一人に1台のPCの整備 	A市	6,590	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">寒川町(中学校)</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">2,532</td> </tr> </table>	寒川町(中学校)	2,532	B市	5,320	C市	4,378	D市	6,481	
A市	6,590	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">寒川町(中学校)</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">2,532</td> </tr> </table>	寒川町(中学校)		2,532								
寒川町(中学校)	2,532												
B市	5,320												
C市	4,378												
D市	6,481												
24年度の状況と今後の方針	<p>平成24年度までの状況</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">PC教室</td> <td style="padding: 5px;">教師用PC1台 生徒用PC40台</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">職員室</td> <td style="padding: 5px;">教師用PC5台(無線LAN)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">特別支援教室</td> <td style="padding: 5px;">一校あたり1台</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">普通教室</td> <td style="padding: 5px;">生徒用12台</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">事務室</td> <td style="padding: 5px;">一校あたり1台</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">校内LAN</td> <td style="padding: 5px;">職員室 PC教室 普通教室 特別教室 において整備済み</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通教室に教師用のPCを配備 ・普通教室用の生徒用のPCを40台(ノート型またはタブレット型) ・電子黒板などの機器の充実 	PC教室	教師用PC1台 生徒用PC40台	職員室	教師用PC5台(無線LAN)	特別支援教室	一校あたり1台	普通教室	生徒用12台	事務室	一校あたり1台	校内LAN	職員室 PC教室 普通教室 特別教室 において整備済み
PC教室	教師用PC1台 生徒用PC40台												
職員室	教師用PC5台(無線LAN)												
特別支援教室	一校あたり1台												
普通教室	生徒用12台												
事務室	一校あたり1台												
校内LAN	職員室 PC教室 普通教室 特別教室 において整備済み												
特記事項 (事業の沿革等)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年度 職員室に教師用PCを各校3台整備 ・平成13年度 PC教室に教師用PCを1台、生徒用PCを20台整備 ・平成14年度 事務室に職員用PCを1台整備 ・平成17年度 寒川中学校特別支援教室にPC整備 ・平成18年度 職員室に教師用PCを3台、インターネット用PCを2台整備 ・平成18年度 普通教室・特別教室に校内LAN整備 ・平成18年度 PC教室に新教師用PCを1台、新生徒用PCを40台整備 ・平成18年度 普通教室用にPCを12台整備(有線LAN) ・平成24年度 PC教室に新教師用PCを1台、新生徒用PCを40台整備 ・平成24年度 旭が丘中学校、寒川東中学校特別支援教室にPC整備 ・平成24年度 職員室に教師用PC5台整備(無線LAN) ・平成24年度 普通教室用に新PCを12台整備(有線LAN) 												

《ヒアリング・協議の概要》

◇事前に委員から提示されていた「ヒアリング時に確認したい事項等」に対する主管課等の回答は、18・19 ページのとおり。

(委員長) PC1 台当たりの児童生徒数で、他自治体の状況は？(18 ページNo.2 関連)

(担当) 茅ヶ崎市：小学校 17 人／台 中学校 10 人／台
葉山町：小学校 22 人／台 中学校 9 人／台
逗子市：小学校 13 人／台 中学校 10 人／台
藤沢市：小学校 21 人／台 中学校 12 人／台
(寒川町：小学校 13.1 人／台 中学校 8.3 人／台)

(委員長) 県内で一番進んでいる自治体などは把握しているか。

(担当) 把握していないので、確認のうえ、後日回答する。

〔後日回答〕小学校のみ 第1位：大和市(6.8 人／台)
第2位：相模原市(7.2 人／台)
第3位：海老名市(7.9 人／台)

(委員長) PC1 台当たりの教員数で、他自治体の状況は？(18 ページNo.2 関連)

(担当) 茅ヶ崎市：小学校 2.6 人／台 中学校 1.8 人／台
葉山町：小学校 3.6 人／台 中学校 2.4 人／台
逗子市：小学校 1.4 人／台 中学校 1.6 人／台
藤沢市：小学校 5.6 人／台 中学校 1 人／台
(寒川町：小学校 5.2 人／台 中学校 5.5 人／台)

(委員長) 校内 LAN があることの効果は？(19 ページNo.11 関連)

(主管課長) 持ち出し用 PC を利用し、普通教室で PC を利用した授業展開ができる。中学校では、持ち出し用 PC を 12 台配備し、普通教室での授業に活用しているが、小学校では、校内 LAN と持ち出し用 PC の両方が整備されていない状況である。

(委員長) 教員の PC の利用率や習熟度についてはどうか。調査は行っているのか。また、他自治体との比較や先進事例は把握されているか。

(主管課長) 成績の作成等において、中学校では PC で 100%行っているが、小学校では教員の習熟度に差があるため、100%ではない。また、習熟度等の調査については、国で行っているが、その資料が今手元に無いため、後日確認のうえ回答する。

〔後日回答〕20 ページのとおり

(委員) PC 等のリースの契約方式について、1 台当たりの金額で契約しているのか？

(主管課長) 1 台当たりではなく、サーバー・プリンター・プロジェクター等の周辺機器と保守を含めた総額で契約している。今回提示している 1 台当たりの金額等は、逆算したものである。

(委員長) 児童生徒が使用する PC については、保守が含まれている契約の方が良いかもしれないが、教員が使用するものについては、リースよりも購入の方が安価では。購入した場合でも、最近は電話相談等のサービスが無料で付いている場合が多い。

(主管課長) 購入方式で配備した場合の故障への対応やその費用に懸念があるため、保守が付いているリース方式が好ましいと考えている。

(委員長) PC1 台当たりの人数について、児童生徒では比較対象(ABCD)の他自治体より優れているが、教員についてはそうとは言えない。このことについてどう考えるか。

(主管課長) 教員 1 人に 1 台の PC を配備してほしい旨の要求を継続して行っているが、町の財政事情により、子どもに係る部分を優先し、教員の部分については段階的に、というのが実状である。

- (委員長) 子どもが優先と言うと聞こえは良いが、子どもを指導するためには、教員がPCについて熟知している必要がある。そのためにも教員1人に1台は絶対に必要で、その配備に際しては、リースよりも購入の方が安価である。また、PCの授業への利活用に関する研修はどのくらい行っているのか。
- (主管課長) 年に1回(夏休み期間に半日~1日)程度、PCを活用した授業に関する研修を行っている。
- (委員) PCを不得手とする人には、研修や講習よりも、目の前にPCを配置し、使い慣れるということが一番だと考える。
- (委員長) PC教室の稼働率を上げるためには、教員がPCに熟達することが必要である。教員に、子どもからの質問や問題発生時に対処できる自信がなければ、PC教室で授業を行うことは不可能であろう。児童生徒への配備数は優れているが、PC教室の稼働率が悪い(18ページNo.5)という、宝の持ち腐れ状態になっていることについてはどのように考えるか。
- (主管課長) PC教室の稼働率に関しては、課題であると認識している。
- (委員長) 価格や子どもの興味・関心度からすると、iPadも導入の検討対象となるのでは。PCを活用することの面白さに関し、また、利活用に伴うマナーやモラルに関し、子ども達への教育を徹底してほしい。現在のPC教室の稼働率では不十分なので、目標を設定し、教育委員会主導で取り組んでもらいたい。
- (委員) PCの整備をこの事業の目標に設定していることがおかしい。台数を揃えることが教育の目標とはなり得ない。子どものPC技術に関する習熟度が目標であるべき。
- (委員長) 各学年における授業内容(19ページNo.12)は、到達目標ではないのか？
- (主管課長) 到達目標ではない。実際に行っている授業内容である。
- (委員長) 教育委員会として、到達目標は設定すべきである。技術の習得のみならず、PCが楽しいと思える子どもの割合など、設定の仕方はいろいろとあるはず。目標が無い状態では、教員はPC教室を利用しようという気にはならないであろう。PC教室の使用に関しては、教員任せなのか。
- (主管課長) 中学校に関しては、技術家庭科で使用することとしているが、小学校では教員任せである。また、道徳の時間において、情報モラル教育を年間最低2時間は行うよう指導しているが、PC教室で行っているとは限らない状態である。
- (委員長) 率直に言って、本事業の課題は何であると考えるか？
- (主管課長) 教員については整備台数であり、児童生徒についてはPC教室の稼働率であると考える。
- (委員長) その課題に対する具体的方策は？
- (主管課長) PC教室の利用について、授業内容に係わらず、各学年・組に優先使用の割り当てを行うことで効果が上がるのではと考える。小学校の図書室の利用に関しては、実際にその方式で行っている。
- (委員長) 教員側では、PCを活用した魅力的な授業づくりという側面も考えられる。PCを活用した教材などの共有化は図られているのか。例えば、技術に長けた教員が作成した教材を、町HP等から自由にダウンロードできるなどの方法が考えられるが。
- (主管課長) 行っていない。ただ、教育研究員研究会において、教員が4つの分野でそれぞれの教育課題に関する取り組みを行っているので、その成果物はある。
- (委員長) そのような取り組みにおいても、教育委員会がPCの利活用に関するテーマを設定するなど、魅力的な授業づくりを積極的に主導していくべきでは。
- (委員) PCは単なる道具・手段に過ぎない。授業等でどのように活用するかということが重要であると考える。
- (委員) 採用試験に、PCに関する項目はないのか？
- (主管課長) 採用試験にはないが、採用後の1年目の新採用研修にPCに関する項目がある。

- (副委員長) 教育委員会としては、コンピュータを利活用した授業という面においては、現状で十分であると考えているのか、または、不足があって充実・強化をしなければいけないと考えているのか、確認させてもらいたい。
- (主管課長) まだまだ不十分だと考えている。多角的に授業の質を高めるためにも、教員がPCを利活用することは必要であり、そのための研修等を充実させていきたいと考える。また、教員用PCについても、教員がすぐにPCを開けるような環境を整備していきたいと思っている。
- (副委員長) 町の教育に関し、他市町村に遅れることの無いよう、努力を重ねてもらいたい。
- (委員) ただ、教育に関しては、すべきことがたくさんあって、PCに関する教育が全てではないとも思う。本当にPCが小学生の時に必要なのか、という観点もあるのでは。PCはあくまでも道具なので、限られた時間をどのように有効活用するのかという問題もあると思う。教育に関しては、町の評価や魅力という部分で必ず話題に上がる部分なので、効果的に行ってもらいたい。例えば、安全面や補助面の整備が必要だが、リコーダーのように中学生になったら1人1台のPCを各家庭で準備してもらおうなどの方策もあるのでは。町の特色にもなるのではないかと思う。
- (委員長) マナーやモラル、自己情報の保護や危険なサイトへの注意など、安全面での教育が道徳の年間2時間しか無いということに不安を感じる。
- (主管課長) 各学年で学ぶべき内容は、教育研究員研究会で検討したもので、それが最低2時間ということになっているが、増やすことは自由である。
- (委員長) 学校裏サイトなど、子どもにとって危険性の高いものが多いので、力を入れて取り組んでいただきたい。その他、本事業の充実のために、主管課として主張することはあるか？
- (主管課長) 中学校については、今年度の夏に教員用のサーバーを設置し、情報管理を徹底できるようになった。小学校についても同様に、教員用PCの情報管理を徹底する必要があるため、そのサーバーの整備と、教員用PCを1人1台に近づけるような形で小中学校とも整備を図っていきたい。
- (副委員長) 教員用PCの個人情報等のメモリーはどのように管理されているのか。
- (主管課長) 学校からの持ち出しは禁止しており、現時点では校長室等の金庫等に必ず保管している状況である。また、中学校については、サーバー管理とし、USB等でも持ち出しができないシステムになっている。
- (委員長) 教員用PCも1人1台ではないということは、教員ごとにIDがあり、各自の情報のみを閲覧・管理しているということか？
- (主管課長) そのとおりである。
- (委員) インターネットに接続しているということで、ファイアウォール等の対策は取られているのか？
- (主管課長) 取っている。

委員からの「ヒアリング時に確認したい事項等」に対する回答

委員名	No.	確認したい内容（希望する資料等）	回答
石田 委員	1	寒川町の小学生と中学生の総数 およびそれぞれの教員数は？	[児童生徒数] 小学校：2,760人 中学校：1,298人 [教員数] 小学校：141人 中学校：87人
	2	H24.3.31 現在、小学生何人に対し1台のPCか？同様に、中学生・教員はどうか？	[小学生] 13.1人/台 [中学生] 8.3人/台 [教員] 小学校：2.6人/台 中学校：1.8人/台
	3	PC1台当たりの年間リース料はいくらか？	[PC教室] リース期間：5年間 小学校：1台あたり1,500円弱/月 中学校：1台あたり2,000円弱/月
	4	近隣 ABCD 市町の具体名を。一校当たりでは比較できない。児童一人当たり換算での比較を示して欲しい。	A:茅ヶ崎市 B:葉山町 C:逗子市 D:藤沢市 [児童生徒1人当たりの換算/年] 寒川町：小学校4,000円・中学校6,000円 茅ヶ崎市：11,000円(小・中合算) 葉山町：12,000円(小・中合算) 逗子市：9,000円(小・中合算) 藤沢市：11,000円(小・中合算)
	5	PC教室の1校あたりの年間活用時間が23年実績で137時間とあるが、生徒一人当たりのPC教室の活用時間数はいくらか？	[小学校] 1年:1.3時間 2年:0.9時間 3年:2.9時間 4年:7.5時間 5年:14.2時間 6年:21.5時間 [中学校] 1年:6.3時間 2年:5.8時間 3年:7.8時間 (単位:1時間=45分)
	6	学生ごとの年間総授業時数は？ 学校開講日は年に何日？	[平成23年度の開校日数] 201日 [" の総授業時数の平均]
	7	学年ごとの1クラス当たりの平均利用時間数は計算できるか？	小学校：940時間 (単位:1時間=45分)
	8	PC教室の利用率（稼働率）を計算できないか？	小学校：14.6% 中学校：8.1% (PC教室使用総時間÷総授業時数の平均)
	9	PC教室の利用率あるいはPCを使った授業数について、他市町のベンチマークはないのか？	藤沢市では、小・中合わせて、利用率33%という目標を掲げている。(実績は不明)
	10	コンピュータを使った授業について文科省の学習指導要領に最低時間は示されているのか？	時間数は示されていない。

石田 委員	11	校内 LAN 年間活用時間とは具体的に何か？小学校で利用されていない理由は何か？	普通教室にインターネット回線を引き、それを利活用して授業を行うことを設定してあるもの。町財政状況等により、小学校にその設備が整っていないため、利用できない状態である。
	12	小学校、中学校での PC を使った授業の具体的内容（各学年ごとの到達目標）を示して欲しい。	<p>[小学校]</p> <p>3・4年：電源の入切、文字の入力、HP の閲覧などの基本操作</p> <p>5・6年：情報収集や画像処理など、表現手段として利用するための操作</p> <p>[中学校]</p> <p>1年：ワード・エクセルの操作、初歩的なプログラミング</p> <p>2年：パワーポイントなど、自己情報を発信するための操作</p> <p>3年：情報モラル教育</p>
	13	教員は PC をどのように利用しているのか？	授業に利活用する動画・プリントなどの教材の作成やインターネットでの情報収集。また、公務用としては、公文書の作成や成績処理などで利用している。
	14	児童・生徒・教員に PC 利用の満足度調査等は実施しているのか？	実施していない。ただし、教員には改善要望という形で意見を聞く機会を設けている。
	15	中学校で「コンピューターの保守について不都合が生じた」とあるが具体的にどのようなことか？	USB 等により、導入当初からある PC を通じてウイルスに感染し、その対処に要した費用である。（導入当初の PC はインターネットに接続することを想定していなかったため、ウイルス対策ソフトの更新ができていなかったことによる。）
新木 委員	16	PC 等ハードウェアのリース料の内訳（1 台当たりのリース料と期間）	<p>PC については、No.3 を参照。</p> <p>その他の機器については、次のとおり。</p> <p>[プリンター] 小学校：33 円／月 中学校：73 円／月</p> <p>[サーバー] 小・中ともに：400 円／月 (PC1 台当たりの額)</p>

教員のPC機能(ICT活用力)に関する県内及び全国レベルとの比較

○小学校（上位10都道府県）

	教材研究・指導の準備・評価等にICTを活用する能力	授業中にICTを活用して指導する能力	児童のICT活用を指導する能力	情報モラルなどを指導する能力	校務にICTを活用する能力
平均	78.8	67.4	66.0	76.4	73.7
1位	高知 91.0	岡山 87.3	三重 82.5	高知 90.5	岡山 89.0
2位	三重 90.7	三重 86.5	高知 81.9	三重 89.3	三重 88.0
3位	愛媛 89.8	高知 84.4	岡山 79.3	岡山 86.9	愛媛 85.8
4位	富山 88.5	富山 83.4	愛媛 79.3	愛媛 86.8	富山 85.3
5位	広島 87.1	愛媛 82.2	広島 78.4	広島 85.9	高知 84.8
6位	岡山 87.1	沖縄 78.9	京都 77.5	富山 84.2	京都 83.2
7位	沖縄 86.9	京都 78.8	富山 76.5	沖縄 83.9	広島 82.2
8位	京都 86.2	広島 77.5	沖縄 75.6	京都 82.8	岐阜 81.0
9位	新潟 84.6	徳島 76.1	茨城 73.9	茨城 82.2	新潟 80.4
10位	岐阜 84.4	熊本 72.9	新潟 72.9	岐阜 82.1	沖縄 80.1
神奈川県	(34位) 77.3	(18位) 68.2	(46位) 57.2	(45位) 67.7	(33位) 71.1
寒川町	66.8	58.8	55.2	74.4	52.8

単位：％（上段に掲げる能力を有していると考えられる教員の割合）

○中学校（上位10都道府県）

	教材研究・指導の準備・評価等にICTを活用する能力	授業中にICTを活用して指導する能力	児童のICT活用を指導する能力	情報モラルなどを指導する能力	校務にICTを活用する能力
平均	75.9	60.8	57.9	70.2	72.6
1位	沖縄 87.2	高知 77.1	高知 73.7	三重 84.6	三重 84.1
2位	高知 87.0	三重 75.2	沖縄 72.0	高知 80.8	岡山 84.1
3位	三重 85.7	沖縄 74.6	茨城 71.8	茨城 80.4	茨城 81.9
4位	岐阜 85.5	愛媛 73.2	三重 71.7	岐阜 79.0	岐阜 81.7
5位	愛媛 84.3	茨城 72.4	愛媛 70.7	愛媛 78.5	高知 81.6
6位	茨城 83.8	岐阜 71.7	岡山 68.8	岡山 78.2	愛媛 81.5
7位	秋田 81.4	岡山 71.2	岐阜 68.6	徳島 77.5	沖縄 80.5
8位	岡山 81.2	京都 69.8	広島 67.0	沖縄 77.2	秋田 78.7
9位	富山 80.3	徳島 68.9	京都 66.5	京都 77.1	京都 78.6
10位	広島 80.3	広島 68.7	北海道 66.5	栃木 76.4	富山 78.5
神奈川県	(28位) 75.0	(27位) 58.6	(46位) 48.6	(36位) 66.3	(26位) 72.1
寒川町	79.4	67.8	59.0	75.0	75.6

単位：％（上段に掲げる能力を有していると考えられる教員の割合）

出典：「平成23年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(平成24年3月現在)」
（文部科学省）